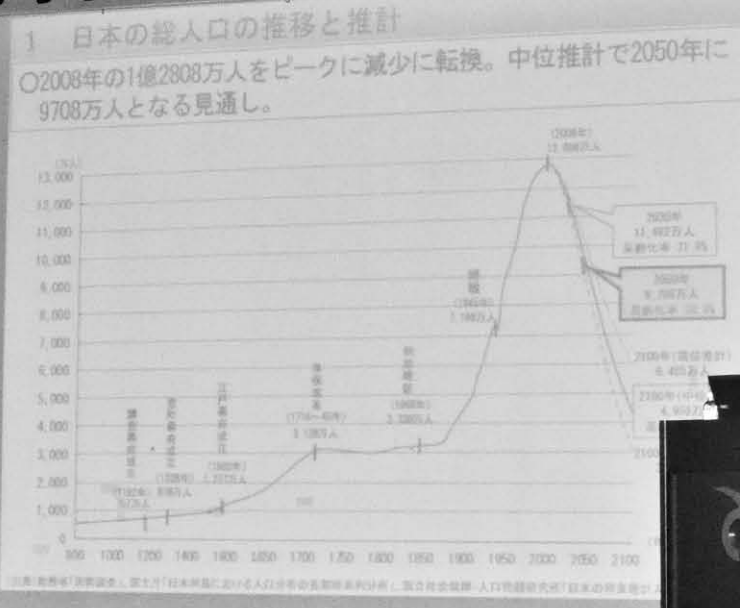


上士幌町 子育て少子化対策フォーラム in 北海道

特別講演
「ストップ少子化・地方元気戦略」
講師 増田 寛也 氏

パネルディスカッション
「地方の元気が日本を変える」



特別講演 「ストップ少子化・地方元気戦略」と題して、増田氏より地方の人口減少について講演をいただきました。

子育て少子化対策フォーラム in 北海道



▲上士幌町の目指す姿をパネル展示で紹介
▼各地より多数の方がご来場されました



まちの元気を持続するために
地方が抱える人口減少や少子化などの課題に対して、どのようにまちの元気を持続させるかを皆で考える「子育て少子化対策フォーラム in 北海道」(同実行委員会・北海道新聞社主催)が3月23日(月)、山村開発センターにて開催されました。

会場には全道より267名の方が来場され、総務大臣を歴任された増田寛也氏の講演や、全国各地で特色あるまちづくりを進めるリーダーたちによるパネルディスカッションなどが行われ、これからの上士幌町を考える有意義なフォーラムとなりました。

少子化対策について講演する元総務大臣の増田寛也氏▶



元総務大臣の増田寛也氏が「ストップ少子化・地方元気戦略」と題し、特別講演を行いました。

増田氏は、「上士幌は早くから、お試し移住などの定住促進策などに取り組んできました。先見の明があり、ふるさと納税に9億8000万円のお金が集まったのには理由がある。人口推計よりも減少を抑えてきており、自信をもって取り組みを続けてほしい。地方創生の成否は、地域の人々がどう行動をおこしていくかで決まる。どれだけ価値観を変えていけるか。それぞれの町が魅力を発信することで、良い結果につながることを願っている」と話し、地方へのエールを送りました。

また、パネルディスカッションでは、日本一の子育てを目指すおおなん邑南町の石橋町長から「子供の出生率に加え女性の就業率を高めること」、学力日本トップクラスであるひがし東成瀬村の鶴飼教育長からは「ふるさとが好きだ」という子どもを育てること、地方創生本部の新井事務局次長からは「自分の町は自分で守るといふ愛着や責任感を養うこと」、竹中町長は「町の魅力を磨くことが重要である」と、それぞれ地方を元気にするヒントが提言されました。



秋田県東成瀬村 鶴飼教育長

パネルディスカッション

木村氏をコーディネーターに4人のパネリストから、それぞれの立場での取り組み事例などが発表されました。



▲北海道新聞帯広支社 木村報道部長



内閣官房まち・ひと・しごと創生本部 新井事務局次長



島根県邑南町 石橋町長



上士幌町 竹中町長



株式会社トラストバンク 須永代表取締役社長

ふるさと納税を活かした地域活性化について、わかりやすく講演をいただきました。

情報提供



竹中町長が子育てと地方創生に関して、本町の取り組みを発表しました。

事例発表

女性ががん検診の受診率100%を目指します ～あなたと大切な人のために～

「女性ががん検診普及啓発キャンペーン」

日本女性の14人に1人は「乳がん」にかかると言われています。子宮頸がんでは1日で10人の方が今も亡くなっています。

乳房、子宮。どちらも女性にとっては大切なもの。女性ががんは早期に見ることで、乳房や子宮を失わずに、治る確率の高い病気でもあります。

今年度、町では女性ががん検診受診率100%を目指します！



女性が幸せなら、きっと家族も町も幸せになる。

キャンペーン

1

子宮がん好発年齢の20～40歳の方、乳がん好発年齢の40～70歳の方は検診料金が無料！
さらに、北斗病院で個別受診した方で、乳腺密度が高く、超音波検査が有効と判断された方は、超音波検査も無料！

キャンペーン

2

11月21日(土)に「ピンクリボン講演会」を開催します！自身も乳がんで2度の手術と放射線治療を乗り越え、乳がんの早期発見に向けて活動を続けているタレントの山田邦子さんと、乳がん検診の普及活動に広くご尽力されている北斗病院乳腺乳がんセンター長の難波清先生をお招きします。
◆講演会の詳細は9月にご案内します。

※検診に関する詳細な内容やお問い合わせ先は、13ページの「ふれあいプラザだより」をご覧ください。